

成果の説明書

(氏名) 高橋 克幸	(学部) 経済学部
<p>1 重要事項</p> <p>(1) セグメント情報に関する研究</p> <p>昨年度は、地域別セグメント情報において、国内海外別のセグメントと価値関連性について研究を行っていた。本年度は、手作業により収集した報告セグメント別の業績予想データ・ベースを用いて、セグメント情報に関する研究を進めた。事業別セグメントの業績予想に対する報告セグメントの利益管理、および事業別セグメントの業績予想と株式市場の反応というテーマについて研究を行った。特に、業績予想報告時点と実績報告時点の「全社費用等」の比較などを行った。</p> <p>また、報告セグメントにおける業績予想データ・ベースを 2020 年度以降更新していなかったため、本学学生を雇用して事業別セグメント情報の業績予想データ・ベースを 3 年程度更新した。コロナ感染症の影響により、従来よりも報告セグメントの業績予想を開示していない企業が短期的に増えたなど傾向があった。</p> <p>(2) 会計情報の有用性に関する研究</p> <p>会計の有用性の変化に関する研究のレビューを行った。論文をレビューした結果、株式市場との関連などから会計情報の有用性が減少していると示唆する研究も数多くあった。しかし、測定方法を変更するなど、従来と検証方法を変更した研究では、会計情報の有用性が上昇した結果もあることが確認された。</p> <p>(3) 会計情報を使用したデータ分析</p> <p>基礎演習向けに、会計情報を使用したデータ分析の実行に必要なコードおよび資料を作成した。プログラム言語を用いてコードを作成したことの無い学生に向けて、基礎演習履修後、基礎的な統計分析や会計研究で使用されている統計分析を行うことができるようになることを目的とした。統計ソフトの使い方や基礎的な分析方法、会計研究の論文で使用されているコードを講義資料として準備した、また、学生の PC 環境などに左右されない、自宅でも学習が可能になるなどの理由から、統計ソフトは Google Collaboratory を使用した。</p> <p>(4) その他</p> <p>担当科目である企業と会計、会計学入門、上級簿記で使用する授業資料を作成した。特に、実際の会計情報を授業資料に多く取り入れるよう留意した。</p>	
<p>2 その他の事項</p> <p>群馬県立富岡高等学校で高校生を対象に「社会の中での会計の役割」をテーマに出張授業を行った。(令和 4 年 10 月 20 日)</p> <p>令和 4 年 4 月より、高崎経済大学生生活協同組合の特定監事となり、理事会に出席する、公認会計士業務指導に立ち会うなど、監事業務を行った。</p>	
<p>3 次年度以降の計画・抱負</p> <p>(1) 研究について</p> <p>事業別セグメントの業績予想を対象として、報告セグメントの利益管理、事業別セグメントの業績予想と株式市場の反応、および各事業の関連度や各事業の持つリスクの違いなどを考慮した検証を行いたい。また、会計情報の有用性の変化に関する研究では、従来の測定方法や企業の自発的な開示情報など他の様々な情報を含めて、会計情報に</p>	

のような役割および有用性があるか研究を行いたい。

(2) 教育について

昨年度の講義内容および資料は教科書の内容を説明することに重点を置いていた。次年度以降は、会計情報の有用性の論文レビュー結果など、近年の会計研究の成果を講義に反映させたい。